

3月25日

JR東労組ステーションサービス申3号

「2019年度賃金引き上げに関する申し入れ」 団体交渉を行う！

組合からの主旨説明

- ・新しい人事・賃金制度を導入し、1年が経過しようとしている。魅力ある会社と安全で働きがいのある職場を目指したものであり、団塊世代大量退職時代に伴い、新規人材確保は順調に経営を進めていくため必要不可欠である！
- ・新規採用者の確保を確実にいき、健全な企業体質を創り上げていくことが重要で、技術継承が出来る職場風土を維持・発展させることは急務な課題である！
- ・組合員は、様々な場で力を発揮することにより企業改善が進み、会社の発展のため日々奮闘してきた。仕事や日常生活においてモチベーション向上と生活水準の向上を実感するために、組合員からも大きな注目を集めており、今年に対する期待は極めて大きい！

組合の主張

- ◇ 昨年は、災害が多発したことにより異常時・輸送障害時の対応に苦慮している！
- ◇ 今後、オリンピック・パラリンピックでの人員不足により対応への不安がある！
- ◇ 遠隔操作システムおよび大宮駅北口改札コーナーの拡大、品川駅での遺失物など、お客さま対応件数が増加し苦勞している！
- ◇ 年末の新幹線車両故障などによるお客さま対応をした組合員の努力に報いるべきだ！

会社の主張

- ◆ 輸送障害もあったが、大きなトラブルにならず駅業務を担って頂いた社員の皆様に感謝している。
- ◆ 人件費を削るとは言わないが、営業費用を抑えて対応する。
- ◆ お客さまの立場に立って、今後も愚直な対応をお願いしたい。
- ◆ 新幹線駅、相互での情報の連携をとっていきたい。

各職場で奮闘している組合員の努力に報いるためには、満額回答が不可欠だ！